

令和2年度 発生予察情報	<b>特殊報第1号</b>	令和2年7月27日 埼玉県病害虫防除所 (TEL:048-539-0661)
-----------------	---------------	--

## ミナミアオカメムシの発生について

県東部の早植水稻周辺の露地野菜ほ場において、多数発生していたカメムシ類を採取し、形態的特徴を確認したところ、ミナミアオカメムシであることが判明した。

\* 特殊報：新規の有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発消長に特異な現象が認められた場合に発表するものです。

1 害虫名 ミナミアオカメムシ *Mezara viridula* (Linnaeus)

2 対象作物 水稻、大豆、果菜類、果樹類

3 発生経過

(1) これまでに、県内の予察灯において散発的にミナミアオカメムシが捕殺されており、県内への侵入及び定着を警戒していたところ、令和2年5月及び6月に各1頭捕殺された。

(2) また、令和2年6月30日に県東部の早植水稻周辺の露地野菜（ジャガイモ、トウモロコシ等）ほ場において、数十頭のカメムシ類が発生しているとの情報があり、個体を採取し農業技術研究センターにおいて形態的特徴を調査した結果、ミナミアオカメムシであることが判明した。

(3) 県内の農作物への経済的被害は、まだ確認されていないものの、多数の個体が確認されたことから今後の被害が懸念される。

(4) 本種は、平成14年以降、西日本を中心に17都府県で発生が確認され、特殊報が発表されており、関東地方では千葉県（平成22年）、神奈川県（平成27年）、東京都（平成28年）で発表している。

4 本種の特徴及び生態

(1) 成虫の体長は12～16mm。近縁種のアオクサカメムシとの形態比較では、①触角の第3、4、5節に着色部があること、②小楯板上端に3つの白い斑点があること（写真1）は共通するが、アオクサカメムシの腹部背面が一部黒色であるのに対し、本種では一様に緑色である（写真2）。また、両種とも体色には色彩変異（白色帯型等）がある（写真1）。

(2) 本種は熱帯から温帯地方南部に広く分布し、国内では本州、四国、九州、南西諸島、小笠原諸島に分布する。1～5齢幼虫を経過して成虫となり、国内では年3～4世代を経過する。成虫で越冬するが、最寒月の平均気温が5℃以下の地域

では越冬できないとされている。

## 5 被害の特徴

- (1) 成幼虫ともに口針で植物の汁液を吸汁する。広食性で水稻、大豆、野菜類、果樹類等 32 科 145 種の植物を吸汁することが知られている。
- (2) 水稻では穂を吸汁し斑点米を生じさせるが、他の斑点米カメムシ類に比べて体が大きく、低密度でも被害が大きくなるとされている。本種による吸汁害で一等米比率が大きく低下した事例もある。

## 6 防除対策

水稻、大豆、なすなどの果菜類、なしなどの果樹類等で被害が懸念されるため、本種を確認したほ場では、各作物のカメムシ類に登録のある農薬で防除する（表 1～4）。



写真1 トウモロコシ上の成虫（左上は白色帯型個体、矢印：3つの白い斑点）



写真2 腹部背面（円内：一様に緑色）

表1 稲のカメムシ類の防除薬剤例

薬剤名	IRACコード	使用時期	使用回数
スミチオン乳剤	1 B	収穫21日前まで	2回以内
キラップフロアブル	2 B	収穫14日前まで	2回以内
ダントツ水溶剤	4 A	収穫7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	4 A	収穫7日前まで	3回以内
エクシードフロアブル	4 C	収穫7日前まで	3回以内
チェス水和剤	9 B	収穫14日前まで	2回以内
エミリアフロアブル	未分類	収穫7日前まで	2回以内

（登録情報は令和2年7月22日現在）

表2 だいののカメムシ類の防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
トクチオン乳剤	1 B	収穫30日前まで	3回以内
キラップフロアブル	2 B	収穫7日前まで	2回以内
ダントツ水溶剤	4 A	収穫7日前まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	4 A	収穫7日前まで	2回以内
カスケード乳剤	15	収穫7日前まで	2回以内

(登録情報は令和2年7月22日現在)

表3 なすのカメムシ類の防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	4 A	収穫前日まで	2回以内
ベストガード水溶剤	4 A	収穫前日まで	3回以内
ダントツ水溶剤	4 A	収穫前日まで	3回以内
カスケード乳剤	15	収穫前日まで	4回以内

(登録情報は令和2年7月22日現在)

表4 なしのカメムシ類の防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
スミチオン乳剤	1 B	収穫14日前まで (有袋) 収穫21日前まで (無袋)	6回以内
アクタラ顆粒水溶剤	4 A	収穫前日まで	3回以内
ダントツ水溶剤	4 A	収穫前日まで	3回以内
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	4 A	収穫前日まで	3回以内
テッパン液剤	28	収穫前日まで	2回以内

(登録情報は令和2年7月22日現在)